「社会福祉協議会」は、みなさんの参加とささえあいで
福祉のまちづくりをすすめる民間の福祉団体です

No.176

社協

さむかわ

この広報紙は皆さまからお納めいただいた一般会費および賛助会費と共同募金配分金により作成・発行しています。

2023.1.1

年4回発行

どなたでも 気軽に ご参加ください
公園での体操は 開放感抜群 気持ちいいですよ

☂雨天中止 ☃寒さの状況によりお休みします

月曜日：さいど公園（倉見）

昨年１１月からスタートした「身近な公園で軽く体操しませんか」。皆さんの口コミのおかげで参加者が増えてきました。**１月、２月はお休み、３月から再開します！**またお会いできる日を楽しみに、新年もお元気でお過ごしください。（月曜～金曜、曜日ごとに違う公園、祝日もやります、時間は午前９時～９時３０分）

火曜日：信玄芝原公園（宮山）

水曜日：越公園（岡田）

木曜日：一之宮公園（一之宮）

金曜日：矢島公園（田端）

令和5年 あけましておめでとうございます

発行　社会福祉法人 **寒川町社会福祉協議会**　寒川町宮山401番地 寒川町健康管理センター内
電話 0467-74-7621　FAX 0467-74-5716　メール：chiiki@samukawashakyo.jp

ホームページ
寒川町社協
検索

特集!

寒川町でボランティア活動をしませんか?

福祉有償運送のご紹介

寒川町社協ボランティアセンターは、ボランティア活動の推進、支援などを目的として、ボランティアコーディネーターがボランティア活動に関する相談に応じています。ここでは、ボランティアの力がなくては成り立たない事業の一つ、【福祉有償運送】をご紹介します。

福祉有償運送とは

移動、外出が困難で公共交通機関を利用することが難しい人が病院や福祉施設、養護学校へ行く際に、車での送迎（有料）を行います。ご利用には身体的状況等の条件があります。この事業の運転の担い手は、認定運転者講習を受けた地域のボランティアの方々です。

ささえあいの地域づくり・地域福祉に参加する

寒川町の皆さんが、暮らしの中で「お互い様、お気兼ねなく」という気持ちが広がり、支え合っていけることは、これからの地域の中でとても大事なことです。今回の特集でもある福祉有償運送はそんな気持ちを形にした事業の一つです。

高齢や障がいなど、様々な理由で気軽に移動ができない方にとっては、通院手段の不安がなくなることが安心して治療に専念できることにつながります。その一翼を担っているのがボランティアでの送迎です。

週1回、月1回の活動でも大丈夫です。車の運転が好きな方、ぜひ運転ボランティアとして活動してみませんか?

運転ボランティアを大募集しています!

運転手として活動していただくためには、この講習を受けていただく必要があります。

国土交通大臣認定

福祉有償運送運転者講習会のご案内

寒川町社会福祉協議会では、体の不自由な方や障がいのある方の送迎をしていただけるボランティアを募集しています。

認定運転者講習開催日：1月28日（土曜日）
時　間：午前9時～午後6時
場　所：寒川町健康管理センター
持ち物：運転免許証、筆記用具、昼食

主催：NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
※ 寒川町社協のボランティアとして活動していただける方は、受講料はかかりません。
※ 寒川町社協での運転ボランティアの新規登録は 72 歳までとさせていただいています。

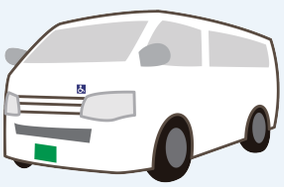
活動の流れ ～運転ボランティアの活動の流れを追ってみました!～

社協の車両で送迎します
普通車が２台、リフト車※が２台あります
※リフト車…車イスのまま乗れる車のこと

出発

目的地へ到着

身体的な介助はありません



終わったら
ご利用者宅へ送ります

帰着
お疲れさまでした！

社協に戻り、カギと日報を
返却して終了です

運転ボランティアの方にお話を伺いました

運転ボランティア
原 光雄 さん

母の介護や大学病院でのボランティア経験から、移動に制限がある方の送迎に興味を持ち、運転者講習を受講しました。

車いすの方を乗せての運転は気を遣うこともありますが、病院の帰り道に車に揺られてウトウトされているのを見たときには、私を信頼し身を委ねてくださっているのだと嬉しくなりました。

運転ボランティアは、車を通して地域に貢献できる活動だと思います。この機会に講習を受けられてはいかがですか？

新年のご挨拶

社会福祉法人
寒川町社会福祉協議会
会長　髙橋　伸隆

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も新型コロナに振り回された一年でしたが二月に勃発した不条理な戦争は世界を震撼させ、小麦の出荷制限や石油・ガス製品まで経済的武器としたことで関連する多くの生活用品が想像を絶する勢いで高騰しました。コロナ禍で職を失いまた諸物価が値上がりする中で、私たちは多くの町民のご支援により、今日の食事にも不自由にされている生活困窮者に手を差し伸べてきました。

住民の生活課題が多様化・複雑化する中で地域共生社会実現と包括的支援体制構築の必要性が言われており、今年はこの事業を推進するための整備事業に取り組んで参ります。皆様の倍旧のご支援をお願いします。

今年の干支は「癸卯（みずのとう）」で「癸」は種子が育ち春間近で萌え出（いづ）る、「卯」（うさぎ）は多産で成長が早く繁栄の象徴を意味し癸卯は大きく飛躍し一気に好転し始める年のようです。一日も早くコロナの終息と戦争が終結して住民の皆様に平穏な日々が来ることを願ってやみません。

あたたかい気持ち

令和4年9月13日～
令和4年12月15日

たくさんのご寄附、ありがとうございます

次の方々より、町社協へ金品のご寄附をいただきました。地域福祉推進のために役立たせていただきます。ありがとうございました。

金員　合計62，000円
物品　タオル
個人　匿名2件
団体　寒川キリスト教会
　　さむかわ白ゆり会
　　中瀬書道サークル
～敬称は略させていただきます～

「フードバンクさむかわ」への、たくさんのご支援ご協力ありがとうございます。必要とされている方々へ届けさせていただいております。
〈食品寄附延べ79件〉

理事会・評議員会の審議結果

○社会福祉功労者の顕彰
○令和4年度収入支出補正予算（第1号）
○職員給与規程の一部改正
○契約職員就業規程の制定
○決議の省略による第2回評議員会の開催
○地域福祉活動推進団体登録制度実施要綱の一部改正
○年末たすけあい募金の配分
○第39回福祉大会

開催日
理事会　令和4年10月14日
評議員会　令和4年11月18日〈書面決議〉
※以上、審議・可決されました。

第6回

町社協は協議体 多様な視点で 福祉のまちづくりを 社会福祉施設

町社協の役員を構成する団体の1つに「社会福祉施設」があります。現在、町内の大蔵にある「養護老人ホーム湘風園（以下、園。）」から1名、町社協へ参画し理事会をはじめ地域福祉部会での議案の協議など、町社協の執行機関である理事としての活動にご協力いただいています。

地域福祉は地域住民すべてが対象なので、入所施設で生活されている方との関わりも含まれます。例えば、園では長年、レクや洗濯物たたみの手伝いなど、様々な活動内容でのボランティアを受け入れることで、ボランティアが施設内に運んでくる外の風を重視しながら、利用者のより良い暮らしを探求しています。また、共同募金運動に取り組んだり、以前は町内のひとり暮らし高齢者を園に招いて利用者の方と一緒にひなまつりのお祝いをしていました。そのような形で、園の中で、利用者と利用者ではない住民が一緒に過ごし交流する、施設ならではの地域福祉が展開されています。

住まいの場所はどこであっても、寒川町の住民みんなで関わる地域福祉のために、施設の視点で町社協に参画いただける役員の役割があります。

第39回寒川町社会福祉協議会 福祉大会

昨年12月3日（土）に福祉大会を町健康管理センターにおいて開催しました。前回同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者を受賞者並びに本会役職員に限定しての開催となりましたが、日頃から地域福祉活動に貢献されている方々へ本会から感謝を伝える場となりました。

また、福祉作文 優秀作品※の発表を行い、子どもたちの作文に会場は感動に包まれました。

受賞された方々をご紹介します。

※12面に掲載

社会福祉功労者の表彰・感謝

（順不同・敬称略）

1 表彰

◇社会福祉功労者
泉新蔵

◇在宅高齢者介護者
黛万千子、山内享子、萩原マサ子

2 感謝

◇多額寄附者
河西工業福祉協議会、
茅ヶ崎遊技場組合、中瀬書道サークル

3 神奈川県社会福祉協議会 会長表彰・感謝（伝達）

◇表彰
内田智也、鈴木利美、高野将樹、
栗田和江、竹内賢太郎

◇感謝
庭野珠樹、三留当美代、森井順子、
楠原恵美、千葉郁美、川口里美、
坂巻あゆみ、袖山直子

4 神奈川県共同募金会会長感謝（伝達）

熊山一利、大國一郎、露木武光

5 福祉作文優秀作品

◇小学生の部
苅込千弥、小島凛久、寺久保睦月、
内藤奏汰、古屋柚季、米沢守人、
白水りのん、井上総一郎、大木望愛、
平井悠真、木元琉麗奈、安藤結菜、
加藤麗那、齋藤優里、山本彩葉

◇中学生の部
櫻井亮太、千野日向、鳥海美優、葭田優花、
甲斐莉杏、齋藤真奈、鶴見篤季、服部圭吾、
井澤瑛光香、伊藤叶莉、太田ノエル、
滝沢咲菜、鶴岡湊人、中井湧心、中島心寧、
中島栞里、増渕汐珠、宮永遥夏、森村美月、
谷澤友良

10月29日（土）

成年後見講座を開催しました

町社協では毎年、成年後見制度の基礎を学ぶ講座を開催しています。

今年度は、みなと横浜法律事務所内嶋順一弁護士を講師にお迎えし、「初めてでもよくわかる、基本から学ぶ成年後見制度」というテーマで開催しました。コロナ禍で3年ぶりの対面開催となるなか、17名の方が参加されました。

成年後見人の職務内容や、申立ての流れ、かかる費用など、具体的な事例も交えながらご説明くださいました。

ますますニーズの高まる成年後見制度について、より多くの方に制度を知ってもらい、必要な方が適切に制度を利用できるようになることを目指し、次年度以降も講座を開催していきます。

制度の利用について個別のご相談は、毎月第一金曜日に専門職による成年後見相談を実施していますのでぜひご利用ください。

詳しくは11面をご覧ください。

ご参加ください　ご利用ください
催し物・相談等のご案内です

～紙面に掲載したイベント等は、新型コロナウイルスの影響により、中止や延期となる場合があります～

子育てサロン

対　象：町内在住の２、３歳のお子さんと保護者
場　所：町健康管理センター
時　間：午前 10 時～ 11 時 30 分
（9 時 50 分受付開始）
申込み：開催月の１ヶ月前の１日
（休みの場合は翌営業日）
９時より受付定員になり次第締め切り
町社協ボランティアセンターへ
（連絡先 16 面）
参加費：対象児１人につき 100 円
開催日：１月 25 日（水）お正月あそび
２月 15 日（水）ひな飾り作り
３月 15 日（水）思い出作品作り・修了式
４月以降については、
社協ホームページにて
ご確認ください

LINE
申込み可

おもちゃ病院

壊れたおもちゃをボランティアの
ドクターが診察してくれます。
日　程：１月２０日(金)･２月１７日(金)･３月１７日(金)
時　間：午前 10 時～ 12 時
場　所：町健康管理センター３階
地域活動応援ルーム
費　用：無料（部品代がかかる場合があります）

障がい児者サロン　春

対　象：障害のある方とそのご家族
日　程：３月 26 日（日）
時　間：午前 10 時～ 12 時
場　所：町健康管理センター１階多目的ホール
申込み：２月 27 日（月）９時より受付
町社協ボランティアセンターへ(連絡先１６面)
内　容：ビンゴ大会など
詳細が決まりましたら、チラシ、
社協ホームページでお知らせします

ご自身の健康維持や地域での活躍を応援!
シニアげんきポイント事業説明会

町内の高齢者施設でお手伝いをしてみませんか。活動に応じ、町の共通商品券に交換できるポイントがもらえます。介護の専門的な知識や技術は必要ありません。活動を始めるには、説明会への参加が必要です（ご都合が悪い方は個別の対応も可能ですのでお問い合わせください）。
日　時：３月 14 日（火）午前 10 時～ 11 時
場　所：町健康管理センター
対　象：町内在住の要支援・要介護認定を
受けていない 65 歳以上の方
持ち物：筆記用具
申込み：３月 10 日（金）までに
ボランティアセンターへ電話
（連絡先 16 面）

やさしいボディコンディショニング&ピラティスの動きで体幹を整えよう
みんなの健康セミナー

内　容：リズム体操　体幹トレーニング
ストレッチ＆リンパケア
会　場：町健康管理センター １階 多目的ホール
日　程：２月２日・16 日・３月２日すべて（木）
時　間：午前 10 時～ 11 時 30 分
参加費：1,000 円※初日に集金
定　員：20 名（先着順）定員になり次第締め切ります
持ち物：ヨガマットもしくはバスタオル、飲み物
汗ふきタオル、運動しやすい服装、靴下
講　師：スマイリー健康クラブ
原田弘子氏（健康運動指導士）、川城由美子氏
問合せ・申込み：町社協

～ひとりで抱えず、聞かせてください～
心配ごと相談専用ダイヤル

0467(73)7830
平日　午前９時～午後５時
文字での相談をご希望の方はファクス、メールをご利用ください。（連絡先は１面）

連絡先の記載が無い場合は、町社協へ　☎0467(74)7621　平日 午前8時30分～午後5時15分

～基礎講座～3時間30分
令和4年度介護に関する入門的研修

参加費無料　**未経験・初心者向け**　**介護・福祉のことがわかる**

地域の事業所で活躍する現場のプロ等から、介護に関する基本的な知識を学べます。家族の介護のために学びたい人、定年後の仕事やボランティアを考えている人、学生など、介護について興味・関心のある方が対象の講座です。

受講者募集!!

対　　象：介護について関心のある方
定　　員：100名　先着順
日　　程：令和5年2月11日（土）午後1時～4時30分
会　　場：寒川町健康管理センター・多目的ホール
申込方法：申込書を郵送、FAX、または窓口まで直接お持ちください。
申込開始：令和5年1月4日（水）午前10時～
※定員になり次第締め切り

講座修了者には県知事名入りの修了証が交付されます

申し込み・お問い合わせ

寒川町社会福祉協議会

電　話 0467-74-7621　FAX 0467-74-5716
メール chiiki@samukawashakyo.jp

実施主体：神奈川県　　運営主体：社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
実　　施：社会福祉法人寒川町社会福祉協議会

日程・カリキュラム

日程：3時間30分　**定員**：100名　**受講料**：無料

2月11日（土） 午後1時～ 4時30分	超高齢社会と介護
	介護に関する基礎知識
	介護の基本
	まとめ

会場：寒川町健康管理センター・多目的ホール（寒川町宮山401番地）

受講申込書

フリガナ		性別	男・女
氏名			
生年月日		年齢	
住所	〒		
連絡先 電話番号	（　　）		
現在の 状況	就業中・無職・その他（　　）		
	就業中の方　業種（　　）　勤務形態（　　）		
応募のきっかけ			

感染症への取り組み

研修実施にあたり感染症拡大防止対策として、次の事項を受講される方にもご協力をお願いしています。

〇研修日に健康チェック表を記入し提出（検温や体調確認等）
〇マスクの着用
〇感染拡大防止の必要に応じて、氏名、連絡先を保健所等の公的機関へ提出

□感染症への取り組み内容を確認しました。（□にチェックを入れてください。）

※（個人情報の取り扱いについて）本研修の目的達成以外には個人情報は活用いたしません。

介護のプロへの第1歩

令和4年度介護に関する入門的研修

参加費無料　未経験者向け　就職相談可

地域の事業所で活躍する現場のプロから、介護に関する基本的な知識や技術を学べます。介護の仕事に関心のある、これから就職を考えている方向けの講座です。

受講者募集!!

対　　象：これから地域で介護の仕事につきたいとお考えの方
定　　員：20名
日　　程：令和5年2月25日(土)、26日(日)、
3月11日(土)、12日(日)
4日間(23時間)詳細は裏面をご覧ください。
会　　場：寒川町健康管理センター・多目的ホール
申込方法：申込書を郵送、FAX、または窓口まで
直接お持ちください。
申込期間：令和5年1月4日(水)～31日(火)必着
締め切り後、介護の仕事をしたい方を優先に選考し、受講の可否をご連絡いたします。

全日程修了者には県知事名入りの修了証が交付されます

申し込み・お問い合わせ

寒川町社会福祉協議会

電　話 0467-74-7621　FAX 0467-74-5716
メール chiiki@samukawashakyo.jp

実施主体：神奈川県　　運営主体：社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
実　　施：社会福祉法人寒川町社会福祉協議会

日程・カリキュラム

日程：全4日間（23時間）　**定員**：20名　**受講料**：無料
会場：寒川町健康管理センター・多目的ホール（寒川町宮山401番地）

2月25日(土) 9:00～16:30	オリエンテーション、介護に関する基礎知識（1時間30分）、介護の基本（1時間30分）、基本的な介護の方法①（3時間）
2月26日(日) 9:00～17:00	基本的な介護の方法②（7時間）
3月11日(土) 9:30～16:40	認知症の理解（4時間）、障がいの理解（2時間）
3月12日(日) 10:00～15:30	介護における安全確保（2時間）、振り返り（1時間）、 ボランティアについて（20分）、就職支援ガイダンス（40分）修了式

受講申込書

フリガナ		性別	男・女
氏名			
生年月日		年齢	
住所	〒		
連絡先 電話番号	（　　）		
現在の 状況	就業中・無職・その他（　　）		
	就業中の方　業種（　　）　勤務形態（　　）		
応募のきっかけ			

感染症への取り組み
研修実施にあたり感染症拡大防止対策として、次の事項を受講される方にもご協力をお願いしています。

○研修日毎に健康チェック表を記入し提出（検温や体調確認等）
○マスクの着用
○感染拡大防止の必要に応じて、氏名、連絡先を保健所等の公的機関へ提出

□**感染症への取り組み内容を確認しました。**（□にチェックを入れてください。）

※（個人情報の取り扱いについて）本研修の目的達成以外には個人情報は活用いたしません。
※ 2月8日（水）までに受講の可否をご連絡いたします。
　連絡がない場合はお手数ですが、必ずお問い合わせください。

ご参加ください　ご利用ください　催し物・相談等のご案内です

～紙面に掲載したイベント等は、新型コロナウイルスの影響により、中止や延期となる場合があります～

正規職員を募集します

求　人

地域福祉推進のために町内で一緒に働きませんか。詳細は本会ホームページをご覧ください。

職　　種：保健師又は看護師
雇用形態：正規職員
就業場所：寒川町地域包括支援センター（寒川町役場１階）
要 資 格：保健師又は看護師
採用時期：令和５年４月予定（応相談）
試 験 日：令和５年２月１日（水）
※詳細は、本会ホームページやハローワーク窓口にてご確認ください。

一時的に使いたい、急に必要になった 車いすの貸し出し

対象者：町内在住で歩行困難な方
利用料：無料
申込み：電話か直接窓口で
貸出期間：1日～1ヶ月
※車いすは台数と種類（自走式、介助式）に限りがあるため、ご希望に添えないことがあります。
例えばこんな時、一時的に利用されています。
- 足を骨折してしまい、通院のために
- 電動車いすの修理が終わるまでの間
- 田舎から高齢の親が泊りにくるので

以下のような場合、貸し出しできないことがあります
- 1ヶ月ごと貸し出しと返却を繰り返して長期に利用したい場合
- ケアマネジャーがついている場合
- 常時、車いすが必要な場合

→このような場合には、介護保険や障がい福祉のサービスなどをご検討ください。

～認知症の理解を深めるために～ こすもすカフェ

対　象：近隣の方、どなたでも
場　所：寒川もくせいハイツ第２集会所（岡田７－１広田酒店向かい）
参加費：１人100円
内　容：おしゃべりしましょう
申込み：当日の午前中までに、地域包括支援センターへお電話ください（連絡先は16面）
開催日：すべて時間は、午後２時～３時30分
１月27日（金）、２月24日（金）、
３月24日（金）

１月・3月は申請月です 高齢者、障がい児者の紙おむつ代助成

対　象：町内在住の在宅で高齢者又は障がい児者で常時紙おむつを必要とされている方を現に介護されている同居又は町内在住の世帯（申請者は家族の方になります）

【注意事項】

・申請には必要書類があります。
詳細はお問合せ下さい。
・助成の対象は紙おむつ、尿取りパットのみです。
・購入した内容のわかるレシート又は領収書の原本が必要です。
・年度に一度提出していただく書類があります
高齢者紙おむつ→申請者世帯の生計中心者の課税・非課税証明書（町民税50,000円以下）が必要です。
障がい児者紙おむつ→療育手帳、障害者手帳が必要です。
※3月の申請月には今年度内（令和4年4月～令和5年3月）のレシートの受付が可能です。
まだ申請されていない方はお持ちください。
4月になりますと年度が変わり受付出来ませんのでご注意下さい。

～専門家が応対します～ 成年後見相談

「成年後見の申し立てって何からやればいいの？」
「障がいのある子どもの親亡きあと」「認知症の家族が心配」など、個別の相談に応じます。

対　象：どなたでも
場　所：町健康管理センター
申込み：前日までに町社協へ要予約
１月６日（金）、２月３日（金）
３月３日（金）いずれも
午後１時～３時、１人１時間まで

～町内在住の食事にお困りの世帯が対象です～ フードバンクさむかわ

日　時：毎月第１土曜日　午前１０時から
場　所：町健康管理センター
内　容：寄付による食品を無料で配布
※用意した食品が無くなり次第終了します。

連絡先の記載が無い場合は、町社協へ　☎0467(74)7621　平日 午前8時30分～午後5時15分

福祉作文について

今年も「寒川町福祉作文コンクール」を実施し、たくさんの作文をご応募いただきました。小学生の部274編、中学生の部365編の応募作品から、小学生の部15編、中学生の部20編を優秀作文として選ばせていただき、数編を「第45回神奈川県福祉作文コンクール（応募総数5，611編）」に応募したところ、次の3名の方が受賞されました。おめでとうございます。

小学生の部
優秀賞
小谷小学校　五年　大木 望愛さん
「障害者と私」
準優秀賞
一之宮小学校　四年　古屋 柚季さん
「おばあちゃんから学んだ『福祉』」

中学生の部
優秀賞
旭が丘中学校　三年　中島 心寧さん
「自分にできること」

また、優秀作文を「福祉作文集」としてまとめました。町健康管理センターにてお配りしております。
ここでは福祉大会で発表していただいた作品と当日の様子をご紹介します。

小学生の部

がんばれ「見えないところで助ける」

小谷小学校　五年　井上 総一郎

ぼくが習い事に向かうときの電車には最近、おなかの大きい女の人が乗ってくるようになりました。その人は優先席にすわっていますが、そこが空いていないとふつうの人がすわる席にすわろうとします。しかしマークがついているのにもかかわらずだれからもゆずられなかったり、すわれたとしてもとなりの人にめいわくそうに見られたりすることが多い気がします。

ぼくは、その女の人は、いやなことをしているわけではないのに、冷たい目で見られるのはかわいそうだと思うし、それはちがうと思いました。女の人も、つらいおもいをしているはずです。ぼくはそんな、困っている人たちをはげましたり、応援したくなりました。だからといって自分にできることはあるのでしょうか。ぼくはだれでもできるようなことを考えました。すると募金を思いつきました。募金は見えないところで活動しますが『人を助けるためにする』という目的はかわらないと思います。自分は今まで赤い羽根募金などは、「羽をもらいたい」という思いもあって募金していたかもしれません。しかし、これからは、羽をもらえない募金でもきちんと募金できるようにしたいです。

また、今以上にあいさつをがんばって、たくさんの人と仲良くなりたいです。そして、その人がどのような人なのかを知って、困っているところを見かけたら、より良いように助けたり手伝ってあげたりしたいです。また、はずかしくても、友達などと協力して手伝えば心強いので、友達をふやすことも大切だと思います。

「障害者と私」

小谷小学校　五年
大木　望愛

私は、習い事の日に電車のホームでいすにすわっていると、ある女性の方が私の前を困った顔で通ったので、思い切って話してみました。

「何か困り事でもありますか。」そう聞くと女性はある物を私に見せました。そこには、「耳が聞こえません。」と書いてあるマークがありました。なので私は、バックからメモとペンを出しました。そこに私は、「困り事があるなら、ここに書いてください。」とメモに書きました。すると、女性は、メモに書きました。「海老名市にあるイオンに行きたいのですが。」と、メモに書いてあったので見てみると、たまたま習い事で行く場所でした。なので、いっしょに乗って海老名市にむかっていました。すると、女性がメモに書きました。見てみると、「私を助けてくれてありがとう。私が困ってるってよく分かったね。どうして、分かったの?」と、聞かれたので、「あなたが困った顔で私の前を通ったので、このままにしておくのは良くないなっと思ったので話しかけました。」と、私は答えました。女性は私の顔を見てメモに、「ありがとう。」と、書きました。そうして、メモでやりとりをしている間に、海老名市についたので、海老名駅から、イオンまで案内してあげました。海老名市のイオンについたので、「ここが海老名市にある、イオンですよ。」と、メモで伝えました。すると、女性がメモに、「本当にありがとう。あなたの事は、ぜったいにわすれない」と、書きました。その後、女性は笑顔でイオンの中へ入って行きました。そのしゅん間、私は、「人を助けるってこんなに大切なんだな」と、思いました。

私は、この経験から、困っている人がいたら、耳が不自由な人にかぎらず、家族、友達も助けてあげたいなと、思いました。

中学生の部

「祖父とのかけがいのない時間」

寒川中学校　二年
甲斐　莉杏

近年では高齢化が進行し寝たきりになったり、身体が不自由で介護が必要になり家族や人々が支えあうようになりました。私は介護をする中で気を付けないといけないのは、まず相手の体に気遣うこと、もう一つは精神状態を管理することが重要だと思いました。高齢になると身体と心に大きな変化が現れます。周囲の仲間が徐々にいなくなり孤独感が増して、感情のコントロールが困難になります。私は孤独をあまり感じさせないようにするには、家族や他者との会話が相手にとってとてもうれしいことだと思います。些細なことを話すことによって、孤独感は消えていくと思います。介護は身体のお世話だけでなく心のケアなどを行うことにより、相手がより良い気持ちになれると思います。

私が介護に関心を持ったのは小学生の夏、祖父母の家に遊びに行った時、突然祖父が倒れてしまいました。私はいきなり起きたことにとてもびっくりして不安でした。祖母と母が心臓マッサージをしている

間、私はほかの家族に連絡し、外に出て救急車を誘導しました。家族の連携で祖父は一命を取り留めました。その時、祖母と母の行動はすごいと思いました。私はあの時もっと自分にできることはなかったのかなと考えました。突然人が倒れた時私は救急車に連絡した後、倒れた人に優しく声をかけて励ますことをこれからやっていきたいと思いました。もし私がこのような状況だったら何もできないままではなく、何かできることを探して助けたいです。何もできなかったらきっと私は後で後悔してしまいます。そうならないためにも今からでもAEDの使い方や救命の技術を学んでいきたいです。

祖父は倒れたその日から家のベッドにいる時間が長くなりました。ベッドにいる事が長いけど、あまり日常生活には支障がありません。めったに会う機会がないので限られた時間の中、私は日常生活や学校で起きたことなどの話題を話しています。その話の中で祖父はしっかり私の話に耳を傾けてくれてうれしいです。

祖父の身体に配慮して家の中では生活しやすいように、例えばすべりやすい廊下はマットを敷いたり、廊下に手擦りをつけたりと身体に負担がないようなことをしています。これは町中でも同じように電車の中では優先席を置くことで体の不自由な人たちのためになったりするので、電車の中では席をゆずることを心がけたいと思います。ほかにも車椅子を使用している人のために、エレベーターのボタンの位置を低くしたり、段差を上るのが困難な人などが使いやすいように通路や出入り口などにスロープがついていることで高齢者の方たちが住みやすい環境になっています。

介護をする中で大切なのは二つあって、一つ目は相手を思いやることが大切だと知りました。相手の気持ちを尊重することで、相手を知ることができるからです。二つ目は会話をすることが大事だと知りました。些細な会話だけでもその時間がとても楽しく感じられたからです。私は祖父母との限られた時間の中、自分の行動で後悔したことはありません。

介護とは大切な時間を大切な人とより多く作ることが、改めて大事なんだと実感しました。

「その人らしく生きるを支える福祉とは」

寒川中学校　二年
齋藤　真奈

私は今まで福祉の事や福祉に関わる取り組みや活動を行っていませんでしたが、私の身近な家族には七〇歳以上のおじいちゃんやおばあちゃんが居ます。父親方お父さんとお母さんです。母親の方の両親も七〇歳を過ぎて仕事をしたり七〇代と思えないほど元気です。その反面風邪をひいたりして病院に行ってみると同じ年齢と思われる人も、年齢より若く見えたり、すごく年寄りに感じる人がいます。そこでお母さんは訪問看護の仕事をしていることからいろいろと話を聞かせてもらいました。

訪問看護は地域で病気や障害を持っている人たちのお宅に訪問してその人らしく生活している事を支援しているそうです。私は「その人らしく過ごす」とはどういうことなのか疑問に思いました。

例えば認知症という病気を抱えている人がその人らしく過ごすために何が必要かを考えてみました。認知症とは認知機能が低下して日常生活や社会生活に支障をきたすことをいいます。認知症とは高齢者がなる病気だと思われていますが、

私のお父さんやお母さんくらいの年齢の人もなる病気だそうです。私の叔父は脳腫瘍と認知症を患いました。病気が進行すると認知症の症状が沢山出現しました。例えば自分の事が自分で出来なくなったり大切な人を忘れてしまうようになりました。それでも家族は嫌な顔を一つもせずに全力で支えていました。最期まで叔父が笑顔で過ごす事が出来るように病気に向き合いました。その時私は叔父が変わっていく姿を見て悲しいより怖いと思っていました。なので話せなかったり逃げてしまいました。今の私なら叔父が大好きだった歌を一緒に歌ったり話をしたり出来るのではないかと思いました。今もう一度会えるなら感謝の気持ちを伝えたいです。どんな病気や障害を持っていてもその人らしさは失われないし大切にしなければいけないという事だと思いました。それは福祉にも同じ事がいえると思います。今私が出来る事は相手の気持ちを推し量り相手の立場に立って物事を考えられるようにする事だと思います。それは相手が大切にしている事を理解する事につながると思うからです。私がもし病気や障害を持ったとしたら私の存在を忘れないでいてほしいし、いつも通り接してほしいと思います。温かく見守っていてほしいと思います。

年齢や病気・障害に関係なく地域でその人らしく過ごせる社会を作っていくためには家族だけではなく周囲の人たちの力や支えが必要です。もっと身近な事から目を向けて、行動を起こしていく事が大切だと思いました。「その人らしく生きる」を支える福祉があたり前のように有り続ける地域になればいいなと強く思います。

当日はビデオ発表も

受賞者集合写真

社協 さむかわ
第176号 令和5年1月1日

ボランティアセンターからこんにちは!

～ボランティアしたい! 頼みたい! を応援します～

寒川町社協ボランティアセンター
電話 0467(72)3721　FAX 0467(72)0277
メール：vc@samukawashakyo.jp
〒253-0106 寒川町宮山401 町健康管理センター

障がい児者サロン　秋 ボウリング大会

令和4年11月6日（日）寒川セントラルボウルにて、ボウリング大会を開催しました。参加した方々は、ボランティアと一緒に和気あいあいとボウリングを楽しんでいました。次回は3月に開催予定です。いろいろな世代の方が一緒に楽しめる内容を企画しています。（詳細は6面）

こんにちは、地域包括支援センターです

高齢者のための相談窓口です

寒川町地域包括支援センター（町役場1階）
電話 0467(72)1294　平日 8時30分～17時15分
FAX 0467(72)5552
メール houkatu@samukawashakyo.jp

☆認知症になっても地域で生活していくために☆

認知症の基礎を学ぶ“認知症サポーター養成講座”の受講者が年々増えていることから、その一歩先の講座である“認知症サポーターステップアップ講座”を開催しています。今年度は、2回行いました。多くの方に受講いただき、認知症への関心の高まりを感じます。認知症は誰がなってもおかしくないものです。認知症を怖がり避けるのではなく、正しく知って備えていきましょう。認知症になっても笑顔で過ごせるような地域は、そこに住む一人ひとりが作ります。

認知症地域支援推進員　桜井 愛美

もっと身近に町社協

(*^-^*) 第6回 善意のこころ事業～寄付や物品回収で地域福祉を支える～

「金員」「金属付の入れ歯」「金属製のアクセサリー」
「未使用ハガキ、未使用切手、書き損じはがき」「不要なパソコン」町社協へお寄せください!

ハガキ、未使用切手
町社協に回収ボックスあり。換金等で地域福祉活動の財源に!

入れ歯、アクセサリー
町社協に回収ボックスあり。金属部分から生まれる収益金が復興支援や地域福祉の財源に!

不要パソコン
障がい者の就労支援事業所へ渡します。パソコンの再資源化(リサイクル)につながる取り組みに!

募金箱の設置
町内の店舗等のご協力で設置していただいている募金箱で地域福祉を応援!

募金箱の貸出し
チャリティー活動等に活用できる募金箱を貸し出します。寄付文化の啓発!

寄附金品
「こんなことに使って欲しい」寄付者のご意向に沿った事業の財源に!

マックスバリュ黄色いレシートボックス（寒川中瀬店　店舗内）
町社協へのレシートの枚数・金額で地域福祉活動の物品の寄贈に!

編集後記
新年、明けましておめでとうございます。今号は全16ページと内容盛りだくさんとなっております。福祉作文の特集からは、小中学生の福祉に対する様々な思いが伝わってきますね。本年も、皆様に役立つような福祉や社協の情報をお届けしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

発行／寒川町社会福祉協議会
印刷所／株式会社さんこうどう
☎0467-74-7621